

長浜バイオ大学産学連携人材育成コンソーシアム趣意書

私たちを取り巻く環境はこれまでになく大きな変化を遂げてきている。気候変動などの自然環境をめぐる変化だけでなく、地政学的な変化も激しい。そのような中で人々の価値観も変化してきている。VUCA の時代と呼ばれる所以である。

長浜バイオ大学もそのような変化にさらされている。その中で見えてきたことは、これまで培ってきた研究が生かされる場面が広がってきたことである。サーキュラー・エコノミーの実現にはバイオ技術が欠かせないし、気候変動には化石燃料からバイオ燃料・素材への転換が必要であり、安全なサプライチェーンを築くために地域のバイオ素材の利活用が求められている。食料安全保障にもバイオサイエンスは欠かせない。さらに、変化の時代に求められているのは、目の前にある問題を解決するだけではなく、問題を発見し、これまでとは違ったやり方で問題を解決する能力、異なる分野の専門家と協働して問題に立ち向かう能力を備えた人材である。

長浜バイオ大学にはバイオサイエンスとバイオ技術の知を活用して様々な社会課題の解決に取り組む人材を育成することが求められている。そのために、バイオサイエンスとバイオ技術を現場で求められている問題解決に適用し、実証的実践的に学ぶ経験が重要になってきている。これは大学だけで取り組めるものではなく、変化する社会の中で多様な課題に挑戦している現場を持つ産業界と協働して取り組むべき課題である。

当コンソーシアムは長浜バイオ大学と企業が連携してそれぞれの現場で求められている多様な問題の解決に必要な人材育成に取り組むことを目的としている。そのために、当コンソーシアムは必要な人材育成プログラムを連携して開発し、学生および従業員の教育を連携して実施し、これからの人材育成に資するものである。